

令和3年度高森町成人式 式辞

新年、明けましておめでとうございます。

本日ここに「令和三年度高森町成人式」を挙げるにあたり、小平議会議長を始めご来賓の皆さま方、恩師の先生方には、大変寒い中、そして公私ともご多用のところをご臨席いただき厚く御礼を申し上げます。

各方面で、新型コロナウイルス感染症の変異株への影響が心配されていますが、今のところ落ち着いた状態であり、本日この会を開催することができました。開催にあたり、大変なご心配とご苦勞をおかけしました、実行委員会の皆さま、公民館教養部の皆さまに心より感謝申し上げます。

さて、本日晴れて成人式を迎えられました160名の皆さん、「ご成人」誠におめでとうございます。皆さんの門出をお祝いするとともに、また、今日まで深い愛情を持って育てて来られましたご両親をはじめご家族の皆さまに、心からお祝いを申し上げますとともに、これまで、温かく見守っていただきました恩師の先生方、地域の方々にも感謝と敬意を表します。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって、私たちはこれまでとは違う生活、現状を受け入れざるを得ない状況となりました。仕事では、テレワークやZoomでの会議が推奨され、大学・専門学校では当たり前のように対面授業からオンラインに変更、ともすれば、友だちとの談笑の場や懇親の機会もオンラインで、といった生活スタイルとなりました。このデジタル社会の拡大は多くの利便性をもたらしたのかもしれませんが、一方でネットやオンラインでは埋めてくれないものもたくさんあると気づかされたのではないのでしょうか。それは、人と人が直接かわす会話の大切さ、人の心の温かみを感じ合う機会の大切さだと思います。先輩や後輩で情報を共有しあったり、飲み会をしたり、思いっきり遊んだり、旅行をしたりという多くの人との関わりや経験は、多様化する社会の中でも、最も大切なものだと気づいたはずですが。これからの社会では、デジタル技術という「道具」を利用しつつも、人々の「つながり」や「共感」を大切にする社会をつくることが求められています。皆さんは、この厳しい状況の中で大人への一歩を踏み出した、ある意味数少ない人たちであり、ぜひ、新しい社会をリードする一員として、前向きに進んでほしいと思っています。

そして皆さんの故郷高森町は、皆さんに熱い期待を寄せ、温かく見守っています。

高森町では、2030年に向けた将来像を「なりたいあなたに会えるまち～日本一のしあわせタウン高森～」とし、そこに住む皆さんの自己実現とともに、高森町に関係する皆さんが、自分たちの力で地域や町を担っていただくまちづくりを目指していま

す。リニア中央新幹線、三遠南信自動車道の工事は着々と進み、当地域はこれまでとは全く違う変貌を遂げようとしています。成人を迎え、ここにいる皆さんはきっと自分自身の夢を持ち、将来をイメージしていると思いますが、少しでもそのイメージを地域や高森町を繋いでいただき、高森町が元気になるよう私たちと一緒に頑張りたいと思っています。

結びに、本日の成人式が一生に一度の素晴らしい思い出として記憶に残るよう、式典終了後においても新型コロナウイルス感染症対策に心掛けていただきつつ、一方で、地域の経済対策にもご理解いただきながら、楽しんでいただきますようお願いいたします。

新成人の皆さんをはじめ、お集まりの皆さま方の一層のご健勝でのご活躍とご多幸を心からご祈念申し上げ、式辞といたします。

令和4年1月3日

高森町長 壬生 照玄